

第77回愛知県高等学校総合体育大会 バドミントン競技 愛知県大会 大会要項

- 1 主催 愛知県高等学校体育連盟
- 2 主管 愛知県高等学校体育連盟 バドミントン専門部
- 3 共催 愛知県 愛知県教育委員会
- 4 後援 中日新聞社 愛知県スポーツ協会 愛知県バドミントン協会
- 5 大会役員  
大会委員長 鈴木 敏夫 (愛知県立豊橋東高等学校)  
レフェリー(競技役員長) 稲垣 翔悟  
デピュティレフェリー(総務部長) 上出 美佳  
デピュティレフェリー(競技審判部長) 佐藤 雅史 荻野 佳宏  
医療役員 山田 悠里子  
競技役員 川井 敦 加古 伸吾 渡邊 武志 加藤 大地  
藤井 珠生 丸山 貴光 大村 悠介 森田 麻里名  
桐林 健太 水野 颯 天野 英也 石川 大樹  
飛田 真道 村上 浩介 千賀 裕斗 村瀬 直子  
丹羽 雄飛 松本 禄生 鈴木 隼平 藤江 佳奈枝  
澤口 文利 坂田 耕藏 中村 敏行 末岡 良彦
- 6 開催日時・開場時刻・会場・種目  
令和5年 5月20日(土) 8:30開場 スカイホール豊田サブアリーナ 男女学校対抗  
5月27日(土) 9:00開場 名古屋市北スポーツセンター 男子複  
9:00開場 名古屋市天白スポーツセンター 女子複  
5月28日(日) 9:00開場 名古屋市名東スポーツセンター 男女単
- 7 会場住所 スカイホール豊田サブアリーナ 豊田市八幡町 1-20  
名古屋市北スポーツセンター 名古屋市北区成願寺 1-6-12  
名古屋市天白スポーツセンター 名古屋市天白区植田三丁目 1502 番地  
名古屋市名東スポーツセンター 名古屋市名東区猪高町大字高針字勢子坊 307 番地の 12
- 8 参加資格 (1) 愛知県高等学校体育連盟加盟校の生徒であること。  
(2) 学校長の出場認知証明のあるもの。(健康診断実施のこと)  
(3) 全日制課程と定時制課程および通信制課程の混成チームは出場できない。  
(4) 統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。  
細則については別途定める。  
(5) 全国高等学校総合体育大会および東海高等学校総合体育大会の県予選会を兼ねるため、下記の参加資格を有すること。  
ア. 年齢は平成16年4月2日以降に生まれた者とする。ただし同一学年での出場は1回限りとする。  
イ. 転校後6か月未満のものは出場できない。(ただし、やむを得ない場合、県高体連会長が認めたときはこの限りではない)

ウ. 令和5年度公益財団法人日本バドミントン協会の会員登録者であること。

エ. その他全国高等学校総合体育大会競技別要項の参加資格に準ずる。

(6) 参加資格の特例

上記(1)に定める生徒以外で(2)～(5)の大会参加資格を満たした生徒を、県高体連が別に定める内規に従い、大会参加を認める。

9 競技方法

(1) 競技は令和5年度公益財団法人日本バドミントン協会競技規則、同大会運営規程及び同公認審判員規程に則り行う。

(2) 各種目ともトーナメント方式とする。

(3) すべて正規ポイント(21P×2G先取, MAX30P)で行う。

(4) プレーヤーはマッチに出場する際、ラケット、タオル、飲み物等をバッグに入れてコートに集合すること。(コートに共用のかごやトレイは設置しない。)

(5) 審判は原則として初回戦を除き、敗者審判とする。なお、個人戦において、プレーヤーは線審1名を連れてマッチに臨む。敗者は出場試合の審判用紙を本部へ持っていき、審判を行う試合の審判用紙を受け取る。

(6) シャトルコックは各校持ち寄りとし、公益財団法人日本バドミントン協会の第1種検定合格球に限る。**温度別適正分類表示番号③**とする。

(7) プレーヤーは、相手または観客に不快な感じを与えないように、競技中、運動用ウェア、シューズを着用する。白一色の着衣を使用する場合は、上衣は襟付き半袖、下衣はショートパンツ(女子の場合はショーツスカートも可)とする。色付き着衣を使用する場合は競技の品位を保つために、公益財団法人日本バドミントン協会の審査合格品とする。

(8) 上衣の背面中央には、高等学校名を日本語で明記すること。(県名をつける場合には、高等学校名の下に愛知と明記すること。)文字の色は上衣に鮮明に映える単一色とし、文字列各行の大きさは、高さ6cm～10cm、横30cm以内とする。

※ゼッケンを使用する場合は、白の布地で縦15cm、横30cmの大きさを基準とし、4隅を留めること。(ゼッケンの場合の文字は、黒色または濃紺色とする。)

10 備考

(1) 組合せは、「愛知県高等学校体育連盟」の公式Webサイトにアップロードする。

(2) 競技中にプレーヤーが負傷した場合、主催者が応急の処置はするが、その後の責任は負わない。

(3) 学校対抗においては、学校対抗メンバー表を学校対抗当日、大会本部に提出すること。

(4) 開場は上記のとおりである。尚、20日(土)男女学校対抗の試合番号1～4は8時30分集合、5～8は10時集合とする。到着が早すぎないように注意すること。

(5) 貸切バス等を利用する場合は、総務へ連絡し、可否を確認すること。

(6) 本大会は、感染症対策に配慮した上で、上記の期日で実施する予定であるが、今後の社会情勢によって変更または中止することもある。

(7) **本大会は、各校の部員とプレーヤーの保護者の応援を認める。**

(8) 本大会は、各校で必要人数の線審の帯同を認める。

(9) 観客席の座席は指定しないが、十分な間隔をあけて着席すること。**尚、5月20日(土)のスカイホール豊田サブアリーナは2階席をプレーヤーと各校の部員、3階席を保護者の応援席とする。**

(10) **5月27日(土)の名古屋市天白スポーツセンターは、施設を利用する上で注意があるので、別紙「天白スポーツセンターの利用上の注意」を必ず確認すること。**

(11) 本大会男女シングルスでベスト8に進出した選手は令和5年6月3日(土)に開催される「第78回 国民体育大会バドミントン競技愛知県予選会」の出場権利を与える。

## 1.1 感染症対策について

- (1) 会場に入場できる者は、プレーヤー・監督・顧問・コーチ・マネージャー・線審と、各校の部員とプレーヤーの保護者である。
- (2) 開会式・閉会式は原則として行わないが、大会開始前に入場者全員を着席させた状態で諸注意を行う。
- (3) マスクの着用については、個人の判断に任せるものとする。ただし、声を出して応援する際は、マスクを着用することとする。
- (4) 飲み物や着替え等を入れるかごを各コートに設置しない。**タオルやラケット、飲み物等はすべて各自が持参したバッグ内に入れる。**保冷バッグの利用は可とするが、クーラーボックスの使用は認めない。
- (5) 換気に関わる体育館の出入口の開閉に関しては、各会場の体育館の指示に従う。
- (6) その他の感染症対策に関わる内容に関しては、「愛知県高体連主催大会における新型コロナウイルス感染症感染拡大予防対策について」によるものとする。

1.2 連絡先 愛知県立豊明高等学校 上出 美佳 Tel.0562-93-1166 Fax 0562-93-1542

## 天白スポーツセンターの利用上の注意

5月27日（土）の名古屋市天白スポーツセンターについて、施設を利用する上で注意点がありますので、以下の点に必ず目を通して周知していただき、ご近隣のご迷惑とならないよう、ご協力をお願いいたします。

### 1 施設の入り口について

施設の北側入口前（敷地内の少し広い屋外空間）は、高い建物に囲まれており、音が響きやすくなっています。開場前に来館された方々の話し声が、ご近隣にお住まいの方へご迷惑となるため、屋外での会話をお控えください。また、開場予定時刻より早すぎるご来館をお控えいただきますようお願いいたします。

### 2 お車での来館について

天白スポーツセンターの駐車場は、8時30分開場です。入口に並んで待機することはお控えください。天白スポーツセンターの駐車場が満車の場合は、お近くのコインパーキングに駐車をお願いいたします。フィールやコンビニエンスストア等、他施設の駐車場を利用することは絶対におやめください。

### 3 チームでのミーティングやウォーミングアップについて

大会出場前後にミーティングや反省会など集まってお話をされる場合は、屋外ではなく館内で行っていただきますようお願いいたします。また、北側入口前の広い屋外空間を含めた敷地内や周辺などを利用してウォーミングアップを行うような、屋外での運動もお控えいただきますようお願いいたします。

以上のことを天白スポーツセンターに来館される各校の大会関係者や保護者の皆様へ周知の上、徹底していただきますようご協力の程よろしくをお願いいたします。また、他の大会会場におきましても、近隣住民の方々に迷惑になるような行為は絶対に行わないようお願いいたします。

<この文書の問合せ先>

担当 愛知県立豊明高等学校（上出 美佳）

電話 0562-93-1166

FAX 0562-93-1542

# 競 技 上 の 注 意

## 競技審判上の注意

### 〔全般的事項〕

1. この大会は、愛知県高等学校体育連盟が定めた大会実施要項及び公益財団法人日本バドミントン協会競技規則、大会運営規程並びに公認審判員規程により行う。
2. 審判は原則としてすべて敗者審判で行う。
3. プレーヤーは開会式・開始式に間に合うように会場に到着すること。
4. 競技の進行を円滑に進めるために、コールされたら速やかに「集合」すること。
5. マッチの進行状況に応じて、予定されたマッチの開始時刻やコートを変更することがある。放送には十分注意すること。
6. マッチを連続して行う場合のインターバルは次の通りである。
  - 〈学校対抗〉○学校対抗が連続する場合は20分とする。ただし、愛知県大会の決勝・3位決定戦は30分とする。
    - 2コート以上並行してマッチを行い、同一プレーヤーが連続してマッチをする場合は10分とする。
  - 〈個人対抗〉○準決勝からは15分、その他はすべて10分とする。
7. 各マッチのインターバルは次の通りである。
  - すべてのゲーム中に、一方のサイドのスコアが最初に11点になったとき、60秒を超えないインターバルを認める。（プレーヤーは20秒前にはコートに入ること）
  - 第1ゲームと第2ゲームの間、第2ゲームと第3ゲームの間に120秒を超えないインターバルを認める。（プレーヤーは20秒前にはコートに入ること）
8. インターバル中のアドバイスは、監督・コーチなど同時に2人までである。
  - 主審の「(コート番号) 20秒」で、コートから離れるものとする。
  - なお、コーチングシートを設ける。
9. 個人対抗単において、マッチ開始前のウォームアップ(3分間)をする相手は対戦相手とする。
10. マッチ中のプレーヤーの水分補給・汗ふきなどは必ず主審の許可を得ること。
  - なお、氷嚢の使用は、インターバル中のみとする。
  - 容器は倒れてもこぼれないフタ付ボトルを使用し、主審横のショートサービスライン付近でバッグに入れ、保管すること。
  - 氷嚢は、ベンチ、コーチングシートで保冷バッグなどに入れ、保管すること。
11. サービスの遅延行為に関しての判定は主審が行う。
12. 主審及び大会本部が必要と認めた以外のプレーの中断は、一切認められない。
13. 次のような違反行為に対しては厳正に対処する。(競技規則第16条)
  - 息切れなど体力回復等の遅延に関わる行為、または、アドバイスを受けるためにプレーを遅らせる行為。
  - 主審の許可なしにコートを離れること。
  - 故意にシャトルに手を加えたり破損したりする行為。
  - 審判員や観客に対して横柄な振舞い、相手に対して下品で無礼あるいは不適切な態度、言動。
  - 見苦しい着衣でプレーをする。
  - ラケットや身体でネットなどのコート施設を叩いたり、耳障りなかけ声や奇声を発するなどの不品行な振舞い。
14. 競技中は、必ず高等学校名の入ったシャツを着用するか、ゼッケンをつけること。
  - (背面の文字は単一色で、文字列各行の大きさは、高さ6cm~10cm、横30cm以内とし、明確に判読できるもの)
15. 競技中の怪我や病気については競技役員長が判断する。
16. 審判員の判定に対して疑問のある場合は当該プレーヤーが、学校対抗の場合は当該プレーヤーと監督に限り質問することが認められる。ただし、抗議あるいは異議であってはならない。
17. 競技場内では、携帯電話の電源を切るか、もしくはマナーモードにすること。
  - また、競技フロア内での携帯電話の使用は一切認めない。
18. コートサイドで、コーチはマッチ中いかなる目的でも携帯電話、パソコンなどの電子機器を使用してはならない。

### [学校対抗に関する事項]

1. 学校対抗（団体戦）はダブルス2組・シングルス3名で行い、マッチ順序はダブルス1・ダブルス2・シングルス1・シングルス2・シングルス3で実施する。なお、シングルス1出場者以外は、ダブルスとシングルスを兼ねて出場することができる。
2. 監督、コーチ、マネージャー、プレーヤーの変更は開会式前をもって最終のものとし、以後の変更は一切認めない。なお、その際の変更は、公益財団法人日本バドミントン協会の会員登録を終えている者とする。
3. 初回戦のオーダー用紙は、開会式前に大会本部へ提出すること。次回戦以降は大会本部で手渡すものとする。対戦相手がわかり次第、速やかに提出すること。
4. オーダー用紙は、3枚複写で記入し、（A）（B）を提出し、（C）を自校で保存すること。
5. 指示のあった時刻までにオーダー用紙の提出がない時には「棄権」とする。
6. プレーヤー集合所は設けない。エントリーをしている者（監督1名、コーチ1名、マネージャー1名、プレーヤー5～7名）は、プレーヤー集合の放送の指示によりコートに集合すること。
7. ベンチに入ることができるのは、当該マッチにエントリーされた者のみとする。
8. マッチ開始前のウォームアップは、初回戦に限り、対戦チームと挨拶の後、主審の指示で各校5分間行うものとする。順番は組合せ番号の先番チームからとする。なお、当初から2コート以上を用いてマッチをする場合は、両チーム同時に5分間とする。ただし、決勝・3位決定戦については各マッチ前に3分ずつウォームアップ時間を与える。（\* 開会式前のウォームアップはない。）
9. 団体戦開始時（挨拶時）には必ず監督も整列をすること。監督不在の場合、原則としてそのマッチはすべて没収となり、オープン形式での参加となる。
10. マッチは、1回戦より2～3コート並行して行うことがある。その際、同一プレーヤーが連続してマッチをする場合のインターバルは10分とする。
11. マッチは、勝敗決定（3マッチ先取）後、打ち切りとする。
12. 勝敗が決定したら対戦チームとあいさつをし、勝利チームは退場し、敗者チームは審判用紙を本部席へ持っていくこと。

### [個人対抗に関する事項]

1. プレーヤーの変更は、いかなる場合でも認められない。
2. プレーヤーはマッチが近づいたら、開会式・開始式で指示があった場所に待機すること。
3. マッチのコールがされたら、速やかにコートに集合すること。
4. マッチ前のウォームアップは認めない。ただし、決勝・3位決定戦・2位決定戦については主審の指示に従い、同時に3分間とする。（単の場合、対戦者同士で行うこと）（\*開会式・開始式前のウォームアップを設ける。）
5. 勝敗決定後は、対戦相手とあいさつをし、勝者は退場し、敗者は審判用紙を本部席へ持っていくこと。

### [一般上の注意]

1. 各競技会場の開場時間を確認して、あまり早い時間に行かないこと。
2. 愛知県大会においては、監督・コーチ・マネージャーは会場到着後、大会本部で受付を済ませ、IDカードを着用すること。
3. 競技者は会場に到着したら、学校対抗に出場するチームの代表者はオーダー用紙を本部席に取りに行くこと。また、個人戦で「棄権」がわかっているところは本部に報告すること。
4. 各競技場では、係員の指示や会場の表示に従って、下履きと上履きの区別をつけること。
5. 競技フロア内での飲食やクーラーボックスの持ち込みを禁止する。ただし、学校対抗の際、ベンチでの水分補給を認める。濡れた場合は、各校の責任できれいにすること。
6. 部旗・応援旗を使用する際には、競技に支障がないような配慮をすること。なお、競技や大会の運営に支障が生じると大会本部が判断したときには、取り外すこと。
7. 応援の際、競技に支障がないように配慮をすること。太鼓やラッパなどの鳴り物、うちわメガホンなどを使用した応援は禁止する。競技に支障があると競技役員長が判断した場合は、競技規則に基づき厳正に対処する。
8. フラッシュを用いての写真撮影は禁止する。また、会場施設内の電源（コンセント）の使用は禁止とする。
9. ゴミは各自で責任を持って持ち帰ること。「来たときよりも美しく」の気持ちを心掛けること。
10. 競技中の疾病、傷害については応急処置のみ主催者で行うが、その後は各自で処置をすること。
11. 防犯上、貴重品はじめ私物の管理は、各自（各チーム）で責任を持って行うこと。
12. 各会場との最前列は、一般および対戦校用応援席とするので、荷物等は置かないこと。なお、観覧席では立っての応援は禁止する。また、事故防止のため最前列の手すりにはもたれないようにすること。

## 愛知県高等学校体育連盟 競技上の注意（補足）

～競技規則、大会運営規程、公認審判員規程の令和4年4月1日の一部改訂による変更点他～

### 1. 棄権の扱いについて（再確認）

#### 大会運営規程 第4章 競技者及びマッチ

第19条 本会主催の第1種大会の個人戦においては組合せ決定後、エントリーの変更はできない。また、マッチを棄権したものは、それより後の同一種目及び同大会にエントリーしている他の種目全てにおいて出場できない。ただし、ダブルスの場合、棄権したプレーヤーのパートナーは除くものとする。

また、本規程の運用に関し、棄権行為が本人または本人以外の者を有利にする目的ではなく、正当な理由をもった棄権行為としてレフェリー（競技役員長）が判断した場合、レフェリー（競技役員長）の判断により、棄権後の他のエントリー種目に出場することを認めることがある。

第20条 団体戦においては、大会開始後、プレーヤーの責任ではない状況（けが、病気、忌事など）が発生した場合は、残りの登録プレーヤーでマッチが可能な場合はこれを認める。なお、その当該プレーヤーが、その後回復しマッチ続行可能な場合はこれを認めるものとする。ただし、これらのすべての事項に関しそれが公正なものであるかは、その大会のレフェリー（競技役員長）が医療役員またはその他の医療関係者などの助言に基づき判断するものとする。

※次の試合に備えて体力温存の為、故意に棄権するなどの行為は許されない。

### 2. プレーヤーまたはコーチの服装、アドバイスについて

#### 大会運営規程 第4章 競技者及びマッチ

第24条 プレーヤーまたはコーチの着衣上の、…

(1) ウェア（上衣）の背面には、単一色で3行までの文字列の表示と背番号の表示を認める。なお、3行の文字列と背番号の色は単一色ですべて同色とする。

①文字列各行の大きさは、高さ6cm～10cm、横30cm以内とし、…

(2) ウェア（上衣）の前面には、単一色で1行までの文字列の表示と、前番号の表示を認める。

①文字列各行の大きさは、高さ6cm～10cm、横30cm以内とし、…

(5) 各ソックス（対の一つ）には2つまで広告（製造メーカーロゴやマークを含む）を表示することができる。大きさは20cm<sup>2</sup>以内とする。プレーヤーまたはコーチが正規のソックスは勿論、圧縮/サポートソックスを着用する場合には各脚/足には合計2つまで広告を表示することができる。（サポータなどの医療用具のメーカーロゴはその数には入れない）

(6) プレーヤーまたはコーチのアンダーウェア、リストバンド、バンダナ、サポータなどの医療用具に1つまでのスポンサーロゴ、チーム名、プレーヤー名、背番号と同じ番号を表示することができる。

①1つのロゴの大きさは20cm<sup>2</sup>以内とする。

②メーカーロゴもその数に入れる。

③アンダーウェアなどにある広告は、シャツ、ショートパンツ、スカートやその他の着衣（ワンピースなど）で隠れていなければならない、その表示が見える位置にあってはならない。

(10) 本条でいうコーチとは、監督、コーチ、そのほか大会参加者など、マッチ中に、コート競技区域内にあるコーチ席に座る可能性のある者を指す。

#### 公認審判員規程 第5条 主審への指示事項

第12項 コートの外からのアドバイス

(2) …もし、コーチがほかのコートに移動したければ、必ずシャトルがインプレーでない時にすること。

(6) コートサイドで、コーチはマッチ中、いかなる目的でも携帯電話、パソコンなどの電子機器を使用してはならない。

(8) コーチは、マッチにふさわしい服装で臨むこと。

例えば、チームユニフォーム・シャツ・ポロシャツ・ブラウス、長ズボンまたはスカートとし、ジーンズやビーチサンダル、バミューダ、ショーツ、スリッパとサンダルは禁止とする。

※「コーチ席に座る場合、従来の七分丈パンツは長ズボンに見なす」という解釈が変更となりました。

コーチ席を利用する場合は、長ズボンの着用をお願いします。

### 3. マッチ中のケガまたは病気について

#### 公認審判員規程 第5条 主審への指示事項

第14項 マッチ中のケガまたは病気

(1) …プレーの遅延を不当に引き起こす如何なる医療処置も認めてはいけない。ただし、医療役員は、ケガ等により処置が必要なプレーヤーに対してはインターバル中を除き、マッチ中、1度だけスプレーを使用した処置をすることができる。…

(2) もし、出血がある場合は、出血が止まるまで、あるいは傷が適切に保護されるまで、そのゲームの再開を遅らせる。…

※総合体育大会および新人体育大会の愛知県大会では医療役員（看護師）を設置することになりました。上記のスプレーを使用した処置をする場合、使用するスプレーは各学校で準備をしてください。

各支部大会では、医療役員の設置は難しいかと思います。医療役員がいない場合、ケガによる処置が必要か否かの判断は、レフェリー（競技役員長（各支部長または競技役員））が行います。

### 4. マッチ前のウォームアップについて（決勝・3位決定戦などのマッチ前3分のウォームアップ）

#### 公認審判員規程 第5条 主審への指示事項

第2項 マッチの開始前（競技区域内）

主審は…

(2) トスの後、できる限り早く審判台にすわり、…

①ウォームアップの時間を計測する。…ウォームアップは主審が審判台にすわったところから始まり、マッチ開始時の「(ラブオール)プレー」のコールで終わる。その際、主審は「レディー トゥ プレー (マッチ開始の準備をしてください。)」をコールし、プレーヤーがマッチ開始の準備をするように指示する。

※練習時間はウォームアップ時間という括りに、マッチ前3分は、3分間アップできるわけではなくなりました。

### 5. 競技の続行が不可能になった場合（競技中の台風などの場合）

#### 大会運営規程 第4章 競技者及びマッチ

第27条 競技中に、停電、火災、地震などやむを得ない事情で競技の続行が不可能になった場合、次の処理をする。

(1) 一定の時間を経過すれば競技の続行が可能な場合は、競技が中断されたときのゲームのスコアのままで再開する。

(2) その日の中に競技の続行が不可能な場合は、そのマッチを中止とし、後日最初から競技を行う。ただし、団体戦の場合はその中断されたマッチの前のマッチまでを有効とする。なお、再試合に当ってはオーダーを変更することはできない。

問合せ先

愛知県バドミントン協会 審判委員会

名古屋高等学校 佐藤雅史

TEL 052-721-5271

令和5年 5月10日

各高等学校バドミントン部顧問殿

愛知県高体連バドミントン専門部

委員長 稲垣 翔悟

第77回愛知県高等学校総合体育大会バドミントン競技における学校対抗戦メンバー表の提出について（通知）

県大会の学校対抗戦においては別紙のメンバー表の提出が必要となります。つきましては、別紙用紙に記入のうえ5月20日の学校対抗戦当日、体育館入場後に本部席へ提出してください。

なお、学校対抗戦の試合開始時（挨拶時）には必ず監督も整列をしてください。監督不在の場合、原則としてその試合は没収試合となり、オープン形式での参加となります。

<この文書の問合せ先>

担当 愛知県立豊明高等学校（上出 美佳）

電話 0562-93-1166

FAX 0562-93-1542

第77回愛知県高等学校総合体育大会 学校対抗メンバー表

種目 バドミントン

男子 ・ 女子

区分

県

学校名

引率責任者氏名

	氏名	学年	協会登録番号
監督			
コーチ			
マネージャー			
選手 1			
選手 2			
選手 3			
選手 4			
選手 5			
選手 6			
選手 7			

上記のとおり申し込みます。

令和 年 月 日

学校名

校長名

印

愛知県高等学校体育連盟会長 殿